

ソーシャル・キャピタルと 新型コロナワクチン接種率に関連

【概要】

- 新型コロナワクチンの接種控え（ワクチン忌避）を抑制する可能性がある要因として、ソーシャル・キャピタル（人と人との繋がりや絆）に着目し、2022年1月に20-79歳のインターネット調査協力者約2,300人を対象に調査を実施しました。
- 個人レベルのソーシャル・キャピタルとして、①ボランティアやサークルなどへの参加（社会参加）、②自分の住んでいる地域や人々への愛着や信頼（社会的結束）、③困ったときの助け合いの状況（互酬性）、の3項目を測定し、新型コロナワクチンの接種歴及び3回目接種の接種意向との関連について調査を行いました。
- 3つのソーシャル・キャピタルの指標いずれにおいても、ソーシャル・キャピタルが高い人の方が既に新型コロナワクチンを接種した人が多いことがわかりました。
- 3回目接種の接種意向についても同様に、ソーシャル・キャピタルが高い人の方が接種意向が高いことが明らかになりました。
- 個人レベルのソーシャル・キャピタルがパンデミック時におけるワクチンの迅速な普及において重要な役割を担う可能性が示唆されました。

東京医科大学公衆衛生学分野の町田征己らは、新型コロナワクチンの接種控えとソーシャル・キャピタルの関係を明らかにするため、2022年1月に20-79歳のインターネット調査協力者約2,300人を対象にインターネット調査を実施しました。その研究成果が2022年6月16日に国際医学雑誌 Human Vaccines & Immunotherapeutic オンライン版で発表されました。

【研究内容の要約】

新型コロナワクチンの接種控え、いわゆるワクチン忌避は世界的な問題となっています。ワクチン接種を促進するためには、個人あるいは社会レベルで介入可能な要因を特定し、有効な対策を検討することが重要です。今回の研究ではそのような可能性がある要因の一つとして、近年、様々な病気や健康行動との関係が報告されているソーシャル・キャピタルに着目しました。

ソーシャル・キャピタル^{*}とは、簡単に言うならば人と人との繋がりや支え合いのことです。本研究では日本におけるソーシャル・キャピタルと新型コロナワクチンの接種歴及び3回目接種の接種意向についての関係を調査しました。

個人レベルのソーシャル・キャピタルとして、①ボランティアやサークルなどへの参加（社会参加）、②自分の住んでいる地域や人々への愛着や信頼（社会的結束）、③困ったとき

の助け合いの状況（互酬性）、の3つの指標について評価を行いました。新型コロナワクチンについては、調査時点の2022年2月は3回目接種が一部の対象にのみ開始されていた時期であったことから、これまでの新型コロナワクチン接種歴と、3回目接種の接種意向の2つについて評価を行いました。

その結果、3つのソーシャル・キャピタルの指標のいずれにおいても、ソーシャル・キャピタルがある人の方が新型コロナワクチンの接種を受けている人が多いことがわかりました。また、3回目接種の接種意向についても同様に、ソーシャル・キャピタルがある人の方が接種意向が高いことが明らかになりました。

パンデミック時におけるワクチンの普及は時間との戦いになります。多くの人に接種してもらうためには、平時から接種を促進させる環境を作ることが重要です。本研究結果から、ソーシャル・キャピタルの醸成がパンデミック時におけるワクチンの迅速な普及において有用である可能性が示唆されました。

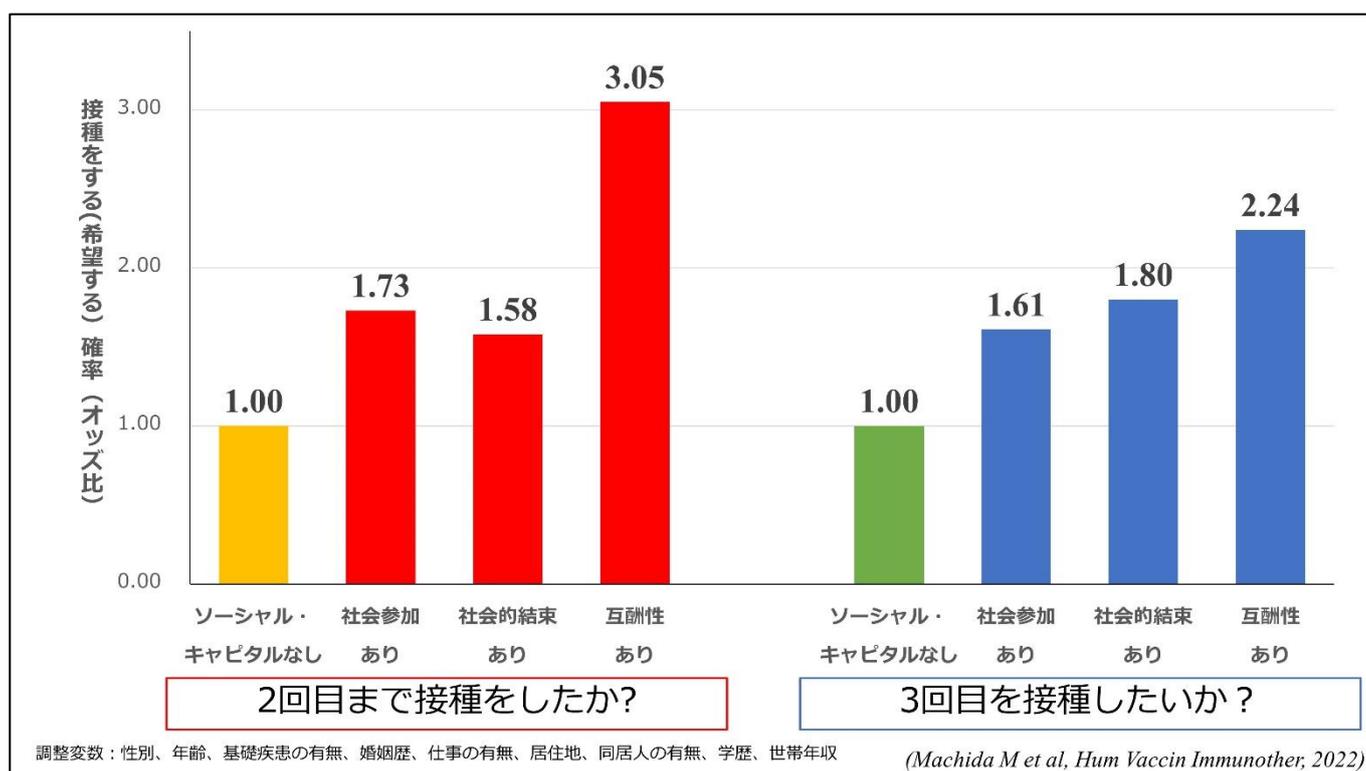


図. ソーシャル・キャピタルと新型コロナワクチン接種との関連

【論文情報】

掲載紙：Human Vaccines & Immunotherapeutics

論文名：Individual-level social capital and COVID-19 vaccine hesitancy in Japan: a cross-sectional study

著者名：町田 征己、菊池 宏幸、小島 多香子、中村 造、齋藤 玲子、中谷 友樹、埴淵 知哉、高宮 朋子、小田切 優子、福島 教照、天笠 志保、渡邊 秀裕、井上 茂

DOI：https://doi.org/10.1080/21645515.2022.2086773（査読済み）

【注釈】

※ソーシャル・キャピタルとは：

「人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性を高めることのできる、「信頼」「規範」「ネットワーク」といった社会組織の特徴」¹や「ネットワークやグループの一員である結果として個人がアクセスできる資源」²などと定義されています。ソーシャル・キャピタルは様々な疾病や健康行動と関連があることが報告されています。

1. Putnam RD. Bowling Alone: America's Declining Social Capital. Journal of Democracy 1995; 6:66-78.
2. リサ・F・バークマン, イチロー・カワチ, M・マリア・グリモール (2017). 社会疫学<上>. 大修館書店.

【問い合わせ先】

東京医科大学 公衆衛生学分野 町田 征己、井上 茂

E-mail: tmuphic.2020@gmail.com